

主日礼拝

2026年4月19日
午前10時30分

前奏

グレゴリオ聖歌「主よ、平和をお与えください
Da pacem Domine」による前奏 (即興)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「まことに、主なる神はこう言われる。見よ、わたしは自ら自分の群れを探し出し、彼らの世話を
する。牧者が、自分の羊がちりぢりになっている
ときに、その群れを探すように、わたしは自分の
羊を探す。わたしは雲と密雲の日に散らされた群
れを、すべての場所から救い出す。」

(エゼキエル書 34:11~12)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも
に、
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。
アーメン。

リタニー「主よ、あなたは羊飼い」

司式者：主よ、あなたは良い羊飼い、
会衆：わたしたちはあなたの羊。
司式者：主はみどりの野原や静かな水辺に、
つれて行ってくださいます。
会衆：わたしたちの心は、喜びと平和に
あふれます。
司式者：主が導いてくださる道はいつも正しく、
会衆：わたしたちは、けっして迷うことは
ありません。
司式者：たとえ死の陰の谷間を通るときにも、
会衆：わたしたちは恐れません。
司式者：主がいつも一緒にいて、
力強いつえで守ってくださいます。
みんな：主よ、あなたは羊飼い、わたしたちの
羊飼い。
アーメン

賛美 2(2,3)「聖なるみ神は」

詞：由木康、1896-1965
改定：改訂委員会、1992

曲：Johann Crüger, 1598-1682
O EWIGKEIT

2 すくいのみかみはくいたるこころに
3 いのちのみかみは主のたまもりて、
あいをもてせまり、つみとが、あやまち
かてをあたえたもうか わけるこころに
ゆるしてみちびく、きよきこころへと。
うるおいあたえてやしないたまえり。
主よ、ささえたまえ、したがわんわれらは。
主よ、もちいたまえ、みわざに、われらを。

2 救いのみ神は 悔いたる心に
愛をもてせまり、
罪、とが、あやまち
ゆるしてみちびく、
きよき心へと。
主よ、支えたまえ、
復わん、われらは。

3 いのちのみ神は 主の民守りて、
糧をあたえたもう。
清ける心に
うるおいあたえて
養いたまえり。
主よ、用いたまえ、
みわざに、われらを。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、
主よあわれみを。主よあわれみを。
キリエ・エレイソン。
主よあわれみを。

聖書 ヨハネによる福音書 10:7~18

新約（新共同訳）p186~p187

7 イエスはまた言われた。「はっきりしておく。わたしは羊の門である。8 わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。9 わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。10 盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。11 わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。12 羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、また追い散らす。——13 彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。14 わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。15 それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。16 わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。17 わたしは命を、再び受けるために、捨てる。それゆえ、父はわたしを愛してくださる。18 だれもわたしから命を奪い取ることはできない。わたしは自分でそれを捨てる。わたしは命を捨てることもでき、それを再び受けることもできる。これは、わたしが父から受けた掟である。」

奉獻演奏

グレゴリオ聖歌

「主よ、平和をお与えください Da pacem Domine」

説教 「イエスさまが羊飼い」

賛美 459 「飼い主わが主よ」

Savior, like a shepherd lead us
詞：Dorothy A. Thrupp, 1779-1847

BRADBURY (SHEPHERD)
曲：William B. Bradbury, 1816-1868

かいぬしわが主よ、まようわれらを
わかぐさののべにともないたまえ。
われらをまもりてやしないたまえ、
われらは主のもの、主のむれなれば。

1 かいぬしわが主よ、まようわれを 3 救いのみちかい、救いのめぐみ、
若草の野べにともないたまえ。 きよむる力はただ主にぞある。
我らを守りて養いたまえ、 我らをあがない生命をたまい、
我らは主のもの、主の群れなれば。 我らは主のもの、主に在りて生く。

2 良き友となりて常にみちびき、 4 主よ、いつくしみを我らに満たし、
まよわば尋ねてつれ帰らせ。 今よりみむねをなさしめたまえ。
我らの祈りを受け入れたまえ、 我らをあわれみ恵みふかし、
我らは主のもの、ただ主に頼る。 我らは主のもの、ただ主を愛す。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝禱

アーメン

ア - メン。 ア - メン。 ア - メン。

後奏 グレゴリオ聖歌

「キリエ」による後奏（即興）

司式：袁 紅
説教：向井 希夫牧師
奏楽：佐々木 悠